



国における急性呼吸器感染症（ARI） サーベイランスの検討状況等について

健康福祉局 保健所 感染症対策課

1 急性呼吸器感染症（ARI）とは

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例。

2 国が想定する急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの概要

（1）目的

急性呼吸器感染症（ARI）の定義に合致する症例数及び収集された検体又は病原体から、各感染症の患者数や病原体等の発生数を集計し、国内の急性呼吸器感染症（ARI）の発生の傾向（トレンド）や水準（レベル）を踏まえた、流行中の呼吸器感染症を把握すること。

（2）開始時期

令和7年4月7日（月）予定

（3）報告対象

インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、百日咳、クラミジア肺炎、マイコプラズマ肺炎、新たに五類感染症に位置づける「急性呼吸器感染症」

2 国が想定する急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの概要

（4）定点の設計

① 患者定点

小児科定点及びインフルエンザ／COVID-19定点にて把握してきた疾患もあることから、原則、現在の小児科定点及びインフルエンザ／COVID-19定点を想定。

② 病原体定点

患者定点医療機関の約10%を選定することを想定。

また、現在のCOVID-19におけるゲノムサーベイランスは、急性呼吸器感染症（ARI）定点／病原体定点からの報告開始に向け、実施体制の変更がされる予定。

2 国が想定する急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスの概要

(5) 報告様式

別記様式6-2

週報

感染症発生動向調査（急性呼吸器感染症定点）

調査期間 令和 年 月 日 ~ 年 月 日

医療機関名:

		0~5 カ月	6~11カ 月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上	合計	
急性呼吸器感染症	男																						
	女																						
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	男																						
	女																						
新型コロナウイルス感染症 <small>（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）</small>	男																						
	女																						
RSウイルス感染症 ※小児科定点のみ	男																						
	女																						
咽頭結膜熱 ※小児科定点のみ	男																						
	女																						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ※小児科定点のみ	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ ※小児科定点のみ	男																						
	女																						
その他	男																						
	女																						

3 今後のスケジュール

令和7年2月21日×切：

都道府県において（※）急性呼吸器感染症（ARI）定点／病原体定点を指定

令和7年4月7日：

急性呼吸器感染症（ARI）定点／病原体定点による報告開始

（※）感染症法第14条および第14条の2に基づき定点医療機関の指定は都道府県において行う。